

中国共産党方正県委員会並びに、
方正県人民政府の皆さま

ご丁寧なお見舞いの手紙をいただきまして、ありがとうございます。

日本国内観測史上、最大の大地震を記録しましたが、我々方正友好交流の会の事務局関係者は、全員無事ですのでご安心ください。

しかし、全国に散らばっている会員や支持者などには、被害が広がっているかもしれません。その実体はわかりませんが、いずれ全容が明らかになるでしょう。

今なお、余震が続いており、東京圏の通勤電車などは、平常の50%~70%であり、困難をきたしております。

それにしても、安全だ安全だと聞かされていた原子力発電所からの放射能漏れにはやはり不安は隠せません。詳しいことは追ってわかってくるでしょう。

大自然には、人間の想像力を超えた力が潜んでいます。どんなに人間が智慧をふりしぼっても、その自然の力を超えることは不可能でしょう。今回の大地震は、これからの人間の生き方、そして、日本の生き方を根底から問い直していると言っているでしょう。

さて、黒龍江省が国家級の現代農業開発区を構想しているというニュースが哈爾濱から入ってきました。それが実現すると方正日本人公墓はどうなるのでしょうか。移転することになるのでしょうか。

ともあれ、方正県にある日本人公墓は、永遠の日中友好の象徴であり、また未来を照らす国際主義的な精神の象徴的な存在でもあります。

どうかいつまでも維持していただきたいと思えます。方正日本人公墓を訪れる人が増えれば増えるほど、日本と中国との絆（きずな、紐帯）は深まるでしょう。

中日友好園林の維持管理に感謝しつつ、お見舞状に対して厚く御礼を申し上げます。

2011年3月18日
方正友好交流の会
事務局長 大類善啓

